

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1191700093		
法人名	有限会社 ファミリーライフ		
事業所名	グループホーム楽々荘		
所在地	鴻巣市下谷1448-1		
自己評価作成日	令和5年10月24日	評価結果市町村受理日	令和6年1月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	令和5年11月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの気持ちに寄り添った介護に努める。毎食前の口腔体操や嚥下機能低下防止に向けた取り組みを行っている。毎週火曜日の訪問看護の受診にて早期発見に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

・家庭的な雰囲気作りを大切にされ、利用者の「外に出かけたい」と希望があれば散歩やドライブ、庭の家庭菜園で野菜作りを楽しまれるなど、自宅と変わらない自由な暮らしができるよう支援に努められている。また、利用者・家族からの「運動をして欲しい」との要望には、歩行訓練や体操などを取り入れ、身体機能の維持に繋がっている。
 ・運営推進会議は、市の担当者、地域包括支援センター職員、民生委員、家族の参加を得て定期的に開催され、口腔体操のアドバイスを積極的に取り入れるなど、出された意見はサービス向上に活かされている。
 ・目標達成計画の達成状況については、災害別マニュアルを整備し、行政から求められたものについては提出を行い、避難場所を複数決められていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員の目につく場所に理念を掲げ意識しながらの介護に努めています。	理念に基づき、家庭的な雰囲気のもと、外出時に近隣の方々と交流を図り、社会の一員として過ごせるよう支援をされています。ミーティングで理念について話し合い、職員の振り返りが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の周りを散歩して会話したり、地域の夏祭りに参加させて頂いたりして交流に努めています。	散歩時に近隣の農家からぶどうをいただいたり、庭の柿を自由に取らせていただくなど地域との交流を深められている。また、コロナ禍で中止していた「常光まつり」が再開され、利用者も参加して楽しまれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くの公園や施設の周りの散歩時にお会いした方々との交流に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナの5類移行に伴い、外部の方々に参加いただき施設の現状報告や、より良い介護に向けて相談やアドバイスを参考にさせていただいています。	運営推進会議は今年度から2ヶ月毎、市の担当者、地域包括支援センター、民生委員、家族等の参加を得て定期的開催されている。会議で出された口腔体操のアドバイスを取り入れ、嚥下機能の改善に繋げることができるなど、サービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にも時間の許す限り、参加いただき情報を共有させていただいています。	市の担当者とは日頃から申請、報告や相談、連絡等でコミュニケーションを図られている。運営推進会議では地域包括支援センター職員から具体的なアドバイスをいただいたり、入居の相談をいただくなど良好な関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	認知症グループホーム協議会主催のzoom研修に参加させていただき、介護ケアに活用させていただき日々の実践に活かしています。	身体拘束廃止委員会が定期的に行われ、拘束に関する学びの時間をもち、身体拘束の内容とその弊害を確認している。転倒、骨折防止のため一部ベルト着用が行われているが、どうすれば外せるのかなど職員間で話し合いを重ねられている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同上		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要と思われる時には、担当者会議を開き対応に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所される前には、十分な説明を行い理解、納得をしていただける様努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談窓口を設けて、家族からの要望や苦情は何時でもお受けして、ミーティングに反映されています。	利用者からは、日頃の関わりの中で、「外に行きたい」、「退屈だ」などの意見を聴き、散歩など適宜対応されている。家族とは、面会時や電話・メール・LINEなどで、「筋力低下が心配」などの意見を聴き取り、歩行訓練など取り入れられている。	家族からの意見や要望を聴き取ることも大切と想定されることから、家族からの意見を伺う機会を増やせるよう、また、事業所の取り組み状況を理解していただける工夫に期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見等は、何時でも受け入れミーティング時にどんなことでも共有しながら、意見交換を行い皆さんで決めるようにしています。	行事企画や日頃のケアの改善点など、職員皆で話し合い検討されている。管理者は現場職員からの意見を良く聴き、日々の業務がやりやすくなるよう検討されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場環境に心掛け、無理のない勤務環境を把握しながら整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	トレーニングが出来るようにローテーションを調整し、職員のスキルアップを支援しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍5類移行しても感染が不安定な状態にあり、極力電話対応で行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者やケアマネジャーが本人・家族からの要望を聞きながら調査を実施し本人が安心出来るサービスに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取り調査を実施し、詳細に記録するように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、本人と家族が必要としている支援を見極め、時には他のサービスを紹介したりするように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の会話を同じ目線で行うようにして、共に関係を深めるように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	可能な限り家族関係を把握していきながら、要望の共有に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との協力を得ながら、なじみの場所や人との関わりに努め支援に繋がっていきます。	季節ごとの花見やドライブ、親族の協力を得て馴染みの場所に出かけたり、電話連絡や年賀状での挨拶など、これまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同作業、体操、ゲーム、雑談等の声掛けを行い孤立を生まない様に支援しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで契約を終了しても様子を見に行ったり、時には相談に応じたりするように心掛けています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や行動の中から、本人の思いや意向をくみ取り支援に生かしています。	利用者同士の関わりによるストレスなど夜勤職員が個別に聴いて汲み取られるほか、入浴時の1対1の機会を捉えて日頃言えない本音の気持ちを把握されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	暮らしの背景や現状の様子をファイルや記録に残し職員が把握出来る様にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様個々に過ごした1日の様子や状態を記録しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネジャー・管理者・本人と家族と共に話し合い、アセスメントを作成し担当者会議を行い意見交換をもとに介護計画の作成を行っています。	更新時に本人、家族からの意向を聴き取り、医師や看護師の意見、ミーティングでの職員からの情報を基に、目標や支援内容には散歩や外出などが盛り込まれ、自立支援を大切にした介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の記録は介護日誌に記入して、ミーティング時に話し合いケアに反映させています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに合わせて対応しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	皆さんが楽しみにしている四季を感じながらの公園の散歩やドライブ等の支援を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様のかかりつけ医による診察を定期的に行われるように支援しています。	法人の医療機関から週1回看護師の訪問があり、法人の医師にはいつでも相談することができるなど、利用者、家族が安心できる医療体制が整備されている。元々のかかりつけ医を継続される利用者が多く、家族付き添いのもと受診が行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日に訪問看護師による診察を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	代表者が医師であり、何時でも連携を取り適切な判断がいただける様になっております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	関係者に依る話し合いを密に行い、家族に出来るだけ負担がかからないように取り組んでいます。	契約時に事業所の方針の説明と確認を行い、理解をいただいている。状態変化時には都度話し合いを重ね、終末期ぎりぎりまで対応した例もあり、利用者、家族の意向を踏まえて納得した最期を迎えられるよう取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	代表者が医師なので連絡を取り指示を仰ぐ。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練・消火訓練を定期的に行い災害対策に取り組んでいます。	消防署員立ち合いのもと年2回消防訓練が行われ、初期消火等の訓練が行われるほか、水害についてはハザードマップを確認したうえで2ヶ所の避難場所を検討されるなど、災害別の対策に取り組まれている。	災害発生は予測不可能なことで、地域との協力体制が必要と想定されることから、地域からの協力を得ての避難訓練も実施されることに期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様には、性格・背景を踏まえた上での親切で丁寧な対応を心掛けています。	上から目線や否定的な対応をしないよう、言葉遣いには十分な注意が払われている。入浴時には必ずドアを閉め、一人が全て終了してから次の利用者に声かけするなど、羞恥心やプライバシーに配慮した対応がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様達の希望は出来る限りかなえられるように心掛けています。(時にはご家族にも協力して頂きながら)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活の中で、職員側の都合を押し付けずに、出来る限り希望に添える様にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容をお願いしています。また夏祭り時には浴衣を着用しお化粧して、ヘアセットや髪飾りを行い楽しんで頂いています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の際のテーブル拭きをできる方交代でお願いしています。	利用者のできる力を活かし、食事の下ごしらえやテーブル拭きなど職員と共に行っている。朝食はジャムやピーナッツバターなど多種揃えたパン食、お誕生日にはリクエストの焼肉や赤飯などを提供し、食べる楽しみを大切に支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事作りの際食事の摂取量や栄養のバランスが確保できるように心掛けています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床・朝食・昼食・夕食後口腔ケアの声掛けや誘導を行い、出来ない方には介助にて行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表に記入して一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し、気持ちの良い排泄が出来る様に支援しています。	排泄チェック表を基に個々のタイミングで排泄できるよう声掛けし、トイレ以外で排泄する方にはまめに誘導を行い、トイレで排泄できるよう支援されている。夜間はポータブルトイレを活用するなど、利用者の負担に配慮した対応が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事での工夫を行ったり、体操や散歩に出掛ける取り組みを行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎週3回の入浴を楽しんで頂いています。また偏らないように午前・午後と交代で楽しめるように支援しています。	週3回の入浴を基本に、入浴の順番や拘りなど希望に添った対応がなされている。入浴を拒否する利用者には、対応する職員を午前・午後で順番を変えたり、健康面に心配のある利用者にはシャワー浴の対応など、入浴が楽しみとなるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後には体調に応じて休息して頂く様に心掛けています。また夜間に影響のない程度に心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬している薬の詳細は個々のファイルに管理して服薬の支援と症状の変化は確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	興味のある方や得意としている方には、出来ることは行って頂き、役に立っているというやりがいの気持ちを持っていただける様に心掛けています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入浴日以外の日には、外気浴しながらの散歩に出られる支援を行っております。時にはドライブの支援も行っております。	毎日近隣を散歩するほか、週3、4回はドライブ、月2回は季節の花見、年1回小川の道の駅まで足を伸ばして食事をするなど、外出を楽しめるよう支援が行われている。また、家族協力のもと泊りがけで温泉に出かけたり、自宅に帰って親族との食事会やお墓参り等に行かれる方もおられる。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、金銭所持は有りませんが、買い物に出掛けた際には、お支払いの体験等も行う時もあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	今現在2名の方が携帯所持されています。持参されていない方は必要に応じて固定電話を使用されています。手紙を書く方にも支援を行っております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	くつろぎの空間を利用して、ホールに居ながら季節感を感じていただける様支援させていただいております。	天井が高く彩光良く明るい共用空間では、日当たりの良い場所での日向ぼっこや玄関外で椅子を並べて皆で歌をうたったり、青空教室でなぞなぞなど楽しまれている。十分な広さのリビングでは、歩行訓練や体操などが行われ、身体機能が維持できるよう取り組まれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内に3ヶ所の場所を設けて、その時々に応じてくつろぎの空間を設けております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れたものを自由に持ち込む事ができ、居室やホールの掲示物も利用者様達と共につったり飾り付けするように心掛けています。	馴染みの寝具や鏡台、テーブルや椅子のほか、テレビやラジオ、ぬいぐるみや家族の写真等が持ち込まれている。布団を干したり、リネン交換を職員と共に行い、利用者が居心地良く過ごせるような居室づくりを支援されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室には名札をつけ、ドアにネームを付けたり入浴時には♻のれんをつけ気分を味わっていたる様に支援を行っています。		

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム楽々荘

目標達成計画

作成日: 令和6年1月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者・家族等、意見の反映	楽々荘便りを毎月発行し、ご家族等に施設での様子を知って頂く。	居室担当者が中心になり、日頃の様子やイベント等の様子を報告し、施設での出来事や外出支援等を知って頂く。	3ヶ月
2	35	災害対策	消防訓練(通報・避難訓練)等を運営推進会議と共に参加。	運営推進会議とスタッフ合同による通報・避難訓練を行い、万一に備える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。